

## ウニに触れ、針の感触実感 青谷高生、地元の漁業学ぶ



ムラサキウニに触れる青谷高の生徒ら  
＝24日、鳥取市青谷町青谷の青谷高

「飼育」をテーマに青谷の漁業について学ぶ青谷高

(鳥取市青谷町青谷)の3年生6人が24日、「鳥取ブルーカーボンプロジェクト」の授業を受けた。同プロジェクト実行委員会事務局長の古田晋平さんが講師を務め、生徒らはウニを通して、鳥取の海や漁業について学んだ。

同プロジェクトは県と県漁協、農林中央金庫により10日に発足。日本財団「海と日本プロジェクト」の採択事業でもある。県沿岸部では、増殖したムラサキウニが二酸化炭素の吸収源となる海草を食べ、「藻場」の消失が進んでいる。同プロジェクトでは、ウニを駆除し、さらには養殖して販売したり地域での消費を促す活動を行っている。

生徒らはウニの飼育を目標に学びを進めており、熱心に授業に耳を傾けた。教室にはムラサキウニが持ち込まれ、生徒らは恐る恐る

ウニに触れ、針の感触を確かめた。

授業を受けた浜田光希さん(17)は「ウニについてもっと知りたくなった。飼育したウニで料理を作ってみたい」と話した。(安井桃華)

【本誌HPに動画】